

2010年11月24日  
成田国際空港株式会社

## 第27回パイプライン自衛消防総合訓練の実施について

成田空港で使用する航空燃料は、主に東京湾内にある石油会社の製油所等からタンカーにより千葉港頭石油ターミナルに搬入された後、パイプラインにより成田空港まで輸送しています。

弊社では、航空燃料の漏洩や火災に備え、関連会社と自衛消防隊を組織しており、成田国際空港航空燃料パイプライン保安規程に基づく自衛消防訓練を毎月実施するとともに、さらに年2回、総合訓練として大規模な訓練を行っております。

今般、パイプラインでの航空燃料漏洩事故等を想定した総合訓練を千葉市美浜消防署と合同で、下記のとおり実施いたしますので、お知らせいたします。

### 記

1. 日時 平成22年11月30日(火) 14:00～15:00
2. 場所 花見川終末処理場内(千葉市美浜区磯辺8-24-1)
3. 目的 成田国際空港航空燃料パイプライン事業用施設の航空燃料流出事故発生時において、空港石油ターミナル、千葉港頭石油ターミナル及び四街道石油ターミナルの各自衛消防隊が一体となり、防災用資機材を活用して、その状況に応じた初期活動を迅速かつ確実に実行し得るように習熟するとともに、自治体消防との連携を強化しつつ防災意識の高揚を図り、人的及び物的被害を最小限に留めることを目的に実施するものである。
4. 参加機関等 5機関(約100名) 化学消防車 4台、救急車 1台、その他関係車両 16台
5. 訓練項目
  - (1)初動処置 (2)緊急通報連絡 (3)自衛消防隊出動 (4)漏洩油流出及び拡散防止措置
  - (5)現場指揮本部の設置 (6)現場立入規制 (7)空気呼吸器装着
  - (8)負傷者の救護と応急処置 (9)一斉合同放水 (10)自治体消防との連携訓練
6. 訓練概要

パイプライン No.5 バルブボックス内で点検中、地震により導管が破損、航空燃料が漏洩したとの想定で初期対応、自衛消防隊出動、現場指揮本部設置、漏洩油拡散防止措置、救護活動等を実施し、その後、No.5 バルブボックスから火災が発生したとの想定で、消防車による放水により、火災を鎮圧させること、鎮火後の人員機材片付け、報告、総員集合等の訓練を実施。

【参考:2009 年度訓練状況写真】

【自衛消防隊出動】



【自衛消防隊現場到着】



【漏洩油流出及び拡散防止措置】



【負傷者発生・担架搬送】



【火災発生・初期消火】



【一斉合同放水】



【火災鎮火確認】



【点検報告】



【総員集合】

